

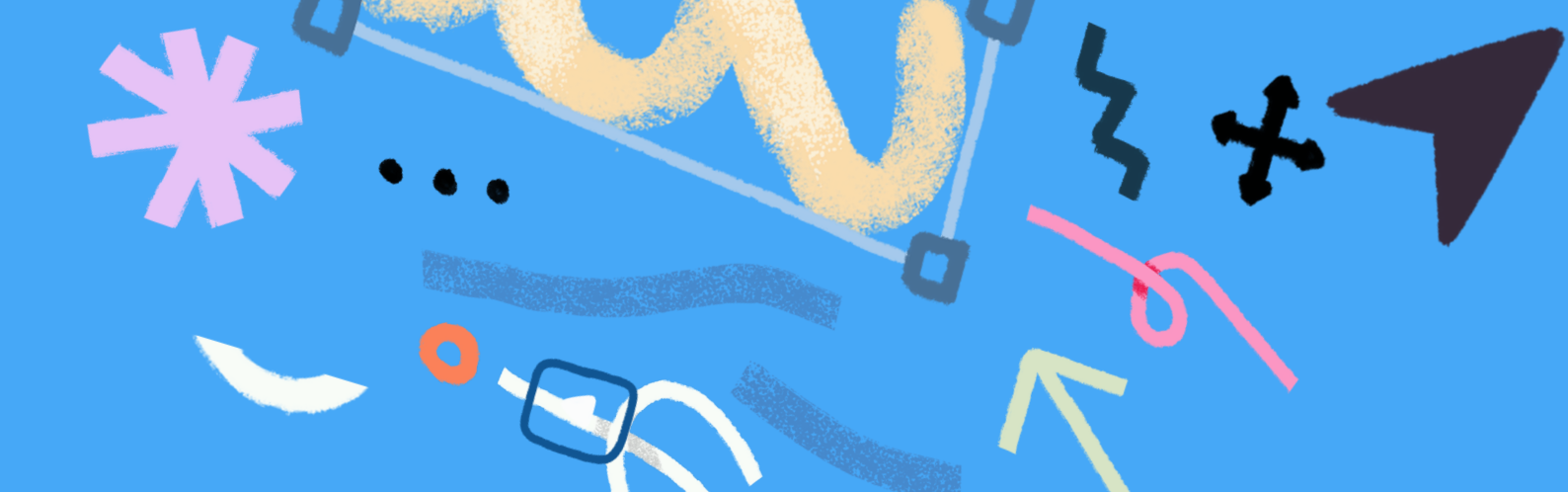


Adobe Creative Cloudグループ版

# Creative Cloudグループ版を 最大限に活用する12の方法

創造性、生産性を向上し、  
ビジネスインパクトを高めるには





Adobe Creative Cloud グループ版をご存じの方なら、魅力的なクリエイティブアセットの共同制作に役立つ、世界最高峰のツール群であることはご承知のとおりでしょう。ところが、他にも便利な機能を多数搭載していることは意外と知られていません。

制作部門を統括する立場であれば、優れたクリエイティブコンテンツを制作する以外にもやるべきことが多数あります。パフォーマンス指標の達成、ビジネス成長の加速、ブランドの強化、制作チームの管理に、可能な限り予算をやりくりしながら対応する必要があるのではないのでしょうか。

ご安心ください。この制作ツールは、それらすべての管理業務に対応しています。Creative Cloud グループ版は、チームの共同作業の効率を高め、大量の業務を迅速にこなし、最終的にビジネスの成長を促進することのできる統合プラットフォームです。ツールの機能を理解して、ぜひ最大限にご活用ください。

このeBookでは、皆様とそのチーム、所属組織のビジネスに役立つ機能を紹介し、Creative Cloud グループ版を最大限に活用する方法をお伝えします。取り上げる内容は以下の通りです。

- チームのメンバーの環境を揃え、[ブランドの一貫性](#)を維持するためのチームライブラリ
- 生産性の高いワークフローを実現するビジネスアプリとの連携
- 共同作業を容易にするレビューとバージョン管理ツール
- ライセンス管理と組織によるコントロールを容易にする管理者機能
- その他

可能性を最大限に生かすためのヒントをぜひ参考にしてください。

# 目次

<b>クリエイティビティを發揮</b>	<b>4</b>
20以上のクリエイティブアプリ	4
生産性向上ツール	4
どこからでもアクセス	5
クリエイティブリソース	6
<b>チーム作業を効率化</b>	<b>7</b>
チームライブラリ	7
共同作業が容易に	8
ビジネスアプリとの連携	8
クラウドに自動保存	9
<b>組織による管理を強化</b>	<b>10</b>
柔軟なライセンス管理	10
請求処理の簡素化	11
企業資産の保護	11
サポート	12

# クリエイティビティを發揮

ブランドを強化するコンテンツ制作に必要なものをすべて一箇所に集約

## 20以上のクリエイティブアプリ

Adobe Photoshop、Illustrator、InDesign、Premiere Pro など、業界をリードするアプリで制作できます。

まず、アプリがあります。Creative Cloudグループ版には、写真、ビデオ、UX、ソーシャルメディアコンテンツなどに対応する20以上のデスクトップアプリとモバイルアプリが含まれます。グラフィックデザイナーやUI/UXデザイナー向けの高度なツールだけでなく、マーケティングやソーシャルメディアの担当者が視覚的に訴求力のあるコンテンツを開発するのに適した使いやすいツールもあります。

ビジネスが成長していくと、ソーシャルメディア用素材やビデオマーケティングをはじめ、新しいパッケージデザイン、デジタルエクスペリエンスなど、新たな制作上の課題が次々と浮上するでしょう。そのためには、ブランドの規模に応じて拡張可能な制作プラットフォームを用意し、新しい課題に備えておく必要があります。

Creative Cloudグループ版は、あらゆる制作ニーズに対応するアプリとサービスを備え、包括的かつ完全に統合された唯一のクリエイティブソリューションです。他の非統合型のクリエイティブアプリとは異なり、あらゆるワークフローでクリエイティビティをシームレスに發揮できるため、チームの生産性が向上し、高品質のコンテンツをいち早く市場に投入できます。

ヒント：クリエイティブ制作の可能性をさらに広げる、Creative Cloudグループ版に搭載された[世界最高峰のアプリ](#)の一覧をご覧ください。

## 生産性向上ツール

デジタル文書の変換、編集、共同作業には、Adobe AcrobatとPDFの機能をご利用いただけます。

紙の書類やPDFの編集が必要であるにもかかわらず、元のファイルが見つからないことがあります。そのような場合、いったんPDFの内容をコピーし、Microsoft Word文書にペーストして全面的に書式を設定し直すという回避策が考えられますが、これでは時間の無駄になってしまいます。

Adobe Acrobatを使えば、PDFを書式設定されたWordファイルに数クリックで変換することができ、変換後にフォントと書式が失われる心配もありません。さらにAcrobatでは、PDFに必要ななどのような編集もほとんどツール内でおこなうことができます。PDFの文字やグラフィックの変更、新しい段落や箇条書きリストの追加、語句を検索して全置換、PDFページの整理などに対応しているだけでなく、画像の追加や写真の切り抜きもできます。

また、ブレインストーミングセッションをデジタル文書に変換することも可能です。Adobe Scanでホワイトボードや思いついたアイデアを取り込んでPDF化し、文字認識機能を適用します。これは一例ですが、適切なツールを使えば、時間を無駄にすることなくビジネスを推進する戦略的かつ創造的な作業に集中できるようになり、効率と制作能力を大幅に向上することができます。

ヒント：AcrobatでPDFを編集する方法については、こちらの[ステップ形式のガイド](#)をご覧ください。

## どこからでもアクセス

モバイルデバイスでアイデアを取り込み、デスクトップで仕上げたら、タブレットやスマートフォンで作品のプレゼンテーションができます。

アドビのクラウドドキュメントを使えば、Adobe Photoshop iPad版で作業を開始した後、Photoshop デスクトップ版で中断した作業をそのまま続けることができるため、いつでも、どこにいても柔軟に作業をおこなうことができます。クラウドドキュメントは、Adobe XD、Photoshop、Illustrator、Fresco、Aeroなどのアプリから直接Creative Cloudアカウントに保存されます。準備が整ったら、プレゼンテーションはどのデバイスからでも公開することが可能です。状況に応じてプレゼンテーションを変更することで、効果を最大限に高めることができます。

ファイルを常にクラウド内で安全に保持できるのも、クラウドドキュメントの優れたメリットです。例えば、PCを紛失または破損する直前に、Illustratorのファイルを保存していたとします。IT部門から予備のPCを借りてきたとしても、ファイルをデスクトップに保存していたら救いようがありません。しかし、Creative Cloudアカウントに保存しておけば、新しいPCからログインするだけで、クラウドのドキュメントにアクセスできます。

クラウドドキュメントでは、どこにいても、どのデバイスからでも、常に最新のファイルにアクセスできます。オフラインでもファイルを利用でき、オンラインに戻ると最新のバージョンが同期され、どのデバイスでも利用可能になります。

ヒント：クラウドドキュメントにはアプリ内で直接アクセスし、管理できるほか、Creative CloudのwebサイトやCreative Cloudデスクトップアプリからも同様の操作がおこなえます。詳しくは、こちらの[よくある質問](#)をご覧ください。

## クリエイティブリソース

無料の Adobe Fonts と Adobe Stock の素材、Adobe Talent への無制限の求人情報掲載、インスピレーションあふれる Behance、その他様々なリソースをご活用いただけます。

**Adobe Stock** では、Creative Cloud アプリから直接高解像度のストック画像をロイヤリティフリーで利用できるため、制作活動が中断されません。無料のコレクションに加えて、有料プランのオプションもあり、チームとしてのひとつのプランで画像やビデオを購入すれば、メンバー全員ですぐに利用できます。グローバルなクリエイティブコミュニティにより、画像、グラフィック、ビデオ、ミュージックトラック、テンプレート、3D アセットなどの新しいコンテンツが毎日追加されています。参考画像を検索バーにドロップするだけで類似画像を検索できる、ビジュアルサーチ機能もあります。

**Adobe Fonts** のライブラリには数千種類のフォントが収録されており、Creative Cloud アプリ内から直接アクセスできます。ライブラリはすべての Creative Cloud サブスクリプションに付帯するサービスです。フォント名で検索することも、特性による並べ替えもでき、何千ものオプションから数に制限なくフォントを選択できます。フォントはすべて個人利用および商用利用のライセンス取得済みのため、アプリ内でそのままご利用いただけます。

アドビの **Behance** コミュニティは、クリエイティブ作品の展示と発掘を目的とした業界をリードするオンラインプラットフォームです。世界中のクリエイターが作品を公開し、他のクリエイターの作品をフォローしてムードボードを作成したり、キュレーションされたギャラリーで新しい作品を見つけたりしています。また、Behance 内の Adobe Talent は、1,500 万人以上のクリエイターが所属する世界最大のクリエイティブネットワークです。**Adobe Talent** は Creative Cloud グループ版に含まれており、サービス内でフルタイム、パートタイム、フリーランス、契約職などの募集広告を出すことも、求職中のクリエイターの中から優秀な人材を探することもできます。

ヒント：インスピレーションあふれる [Adobe Stock プレミアムコレクション](#) をぜひご覧ください。次のプロジェクトは [Behance](#) アカウントでムードボードを作成することをお勧めします。



# チーム作業を効率化

グループ版ならではの統合ツールとサービスで共同作業を効率化

## チームライブラリ

チーム全体でアセットを共有し、編集権限を管理してブランドの一貫性を確保できます。

競争の激しい市場でブランドの優位性を発揮するには、あらゆる顧客接点で一貫した体験を提供することが必要です。しかし、複数のチームが種類の異なるコンテンツを制作する現場でこれを実現するのは容易ではないでしょう。

そこでお勧めするのが、チームライブラリの活用です。クリエイティブ要素を一か所に集約することで、メンバー全員が同じファイルを共有しながら作業を進められます。チームライブラリでは、デザイン要素、カラー、文字スタイル、ストック写真、ブラシ、オーディオ、ビデオなどを共有できます。共有した素材は、更新されると自動的にすべてのユーザーに同期され、ほとんどのCreative Cloudアプリで利用できるため、シームレスなワークフローが実現します。社内外の関係者とライブラリを共有するときは、読み取り専用の招待状を使用すれば、ブランド要素を管理できます。

デザイナーが新しいロゴでwebページを更新したり、広報担当者がPowerPointのプレゼンテーションに素材を利用したりするときも、すべてのチームメンバーが同じロゴ、カラー、アイコンを使用できます。また、制作プロセスにおけるクリック数を減らすことができ、デザイナーやその他のコンテンツ制作者が常に最新のアセットを容易に利用できるため、作業がよりはかどります。

チームライブラリは、ブランドの一貫性を維持するためだけでなく、生産性の向上にも貢献します。チームライブラリを使用しているチームを調査したところ、従来のアセット共有型ワークフローを使用しているチームに比べ、作業が最大8倍高速化しました。つまり、ビジネスを前進させる創造的な業務に最大8倍の労力をかけられるということです。

ヒント：チームライブラリを使用して、ブランドアセットのスタイルガイドや次のプロジェクトのための共有ライブラリを作成しましょう。まずは[使い方ガイド](#)をご覧ください。

## 共同作業が容易に

レビューを共有してフィードバックをもらい、よく使用するアプリから共同編集者を招待することもできます。

非効率なレビュープロセスほど、生産性と創造性を低下させるものではありません。電子メールの添付ファイルとファイルの更新が増えると、フィードバックの回収と統合がすぐにコントロールできなくなり、関係者が増えるほど、コミュニケーションの問題が生じやすくなります。

Creative Cloudグループ版では、アセットの共有とコメントの集約を一元管理できるため、レビュープロセスを効率化できます。レビューリンクの作成は、Creative Cloud webサイト (Photoshop、Fresco、Illustratorの場合) またはアプリ (XD、InDesignの場合) からおこなえます。レビューリンクは、デバイスやユーザーを問わずに共有でき (アカウント不要)、誰でも同じオンラインドキュメントにその場でコメントを残し、@メンションを追加できます。ほとんどのアプリでは、使用中のアプリに戻ってコメントを確認することもできます。

レビュープロセスを簡素化すると、ワークフロー全体が劇的に変化します。レビュープロセス中もチームの連携を維持し、生産性の高いやり取りを続けることで創造力を維持でき、結果として短時間で高品質な制作ができます。

ヒント：チーム内外で、レビュー用にファイルを共有してみましょう。[詳細ガイド](#)をご確認ください。

## ビジネスアプリとの連携

Microsoft TeamsやSlackなどのビジネスアプリと連携して生産性を向上できます。

Creative Cloudだけでなく、Microsoft PowerPointやTeams、Google Workspace、Slack、Asana、monday.com、Smartsheet、Workfront、Frame.ioなど、日常的に使用するビジネスツールには様々なものがありますが、ツールを切り替えるたびにワークフローのスピードが落ちることがあります。しかし、そのツールがCreative Cloudアプリとシームレスに連携していれば問題ありません。

サードパーティ製の生産性向上アプリ、共同作業ツール、その他のデザインツールとの連携機能により、数回のクリックでチームの制作ワークフローを接続できます。例えば、Microsoft 365の場合、Microsoft Teamsとの連携によりアセットをチャットメッセージで共有したり、Creative CloudのアセットをTeamsのチャンネルタブにピン留めしたりすることができ、チームで使用中のツールで迅速にフィードバックを得ることができます。同様に、チームライブラリなどのクリエイティブ要素をWordやPowerPointに取り込むことも可能です。

また、トップデベロッパーが提供しているプラグインを使って、Photoshop、Illustrator、XD、Premiere Proなどよく使用するアプリの機能を拡張することもできます。新機能の追加、タスクの自動化、制作の効率化を実現する、何千ものプラグインが公開されています。お探しのものが見つからなければご自身で開発し、世界に向けて公開することもできます。



Creative Cloudのプラグインと連携はアプリを大幅に拡張し、アプリ間の干渉を低減してワークフローを効率化できるため、創造的な作業に集中する時間を増やすことができます。

ヒント：[プラグイン](#)をインストールし、お使いのビジネスツールとの[連携機能](#)をご確認ください。

## クラウドに自動保存

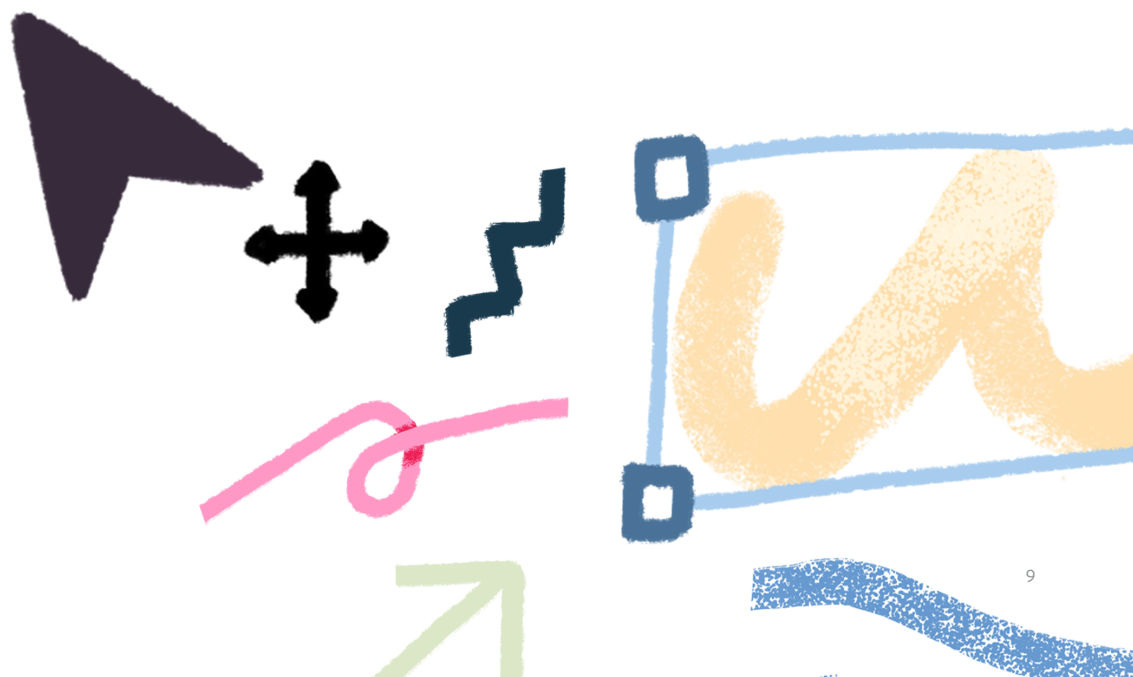
クラウドドキュメントとライブラリは変更内容がクラウドストレージに自動的に保存されるため、どこからでも作業を再開でき、過去180日間の履歴による旧バージョンの復元も可能です。

例えば、数か月前にお客様からブランドアセットで使用していた赤の色合いを変更するように依頼され、また気が変わって元の色合いに戻して欲しいと言われたとします。このようなときも、数か月前がどうだったか頭を悩ませる必要はありません。180日以内に作成されたIllustratorファイルの旧バージョンはすべて残っているため、古い赤の色合いがすぐに見つかります。

バージョン履歴は、共同作業者による変更を何らかの理由で元に戻す必要がある場合にも便利です。誰かがファイルを更新すると自動的に新規バージョンとしてクラウドに保存されますが、その編集を一括して消去し、前のバージョンに戻すことも簡単にできます。特定のバージョンにタグを付けて、後で参照しやすくすることもできます。

バージョンニングを可能にしているのは、1ライセンスあたり1TB付属するクラウドストレージです。チーム全体のストレージ容量をプールできるため、柔軟にご利用いただけます。クラウドストレージがあれば、過去のバージョンも含めて、必要なクリエイティブアセットにいつでもアクセスできるので安心です。

ヒント：ファイルをクラウドに同期し、バージョンを管理する方法については、こちらの[ガイド](#)をご覧ください。



# 組織による管理を強化

使いやすい管理機能でプラン、アプリ、アセットを管理

## 柔軟なライセンス管理

webベースのAdmin Consoleですべてのユーザーとプランを表示し、ライセンスの購入、デプロイ、管理ができます。

どのようなビジネスにもクリエイティブ制作のニーズがあり、事業規模の拡大など、時とともにそのニーズは変化するものです。Creative Cloudグループ版は、必要な時に必要な分だけ購入し、必要に応じてチームメンバー間でライセンスを再割り当てすることができます。すべてのCreative Cloudアプリを含むCreative Cloudコンプライトプラン、またはPhotoshop、XD、Illustratorなどの単体アプリを購入するほか、制作チーム内の各メンバーのニーズに応じて、組み合わせて購入することもできます。

Admin Consoleでは、製品とライセンスの追加をいつでもおこなえ、更新時に製品とライセンスを削除することも、ある時点でどのチームメンバーにライセンスを割り当てるかを管理することもできます。例えば、6か月間ライセンスへのアクセスが必要な契約スタッフがいて、その後に別の契約スタッフと切り替わる場合、最初の契約スタッフが退社した時点でそのユーザーを解除し、ライセンスを別のユーザーに再割り当てすることができます。また、グループ単位で一括して権限を指定できるため、個別に管理していた時間を節約できます。

Admin Consoleは、組織内のユーザーがCreative Cloudアプリをどのように使用しているかを可視化できるため、自社に最適な購買判断ができます。また、Creative Cloudグループ版の各ユーザーは、専用のダッシュボードでフォント、チームライブラリ、クラウドドキュメントなどのリソースを表示し、管理できます。Creative Cloudグループ版に組み込まれた管理ツールを使用することで、ビジネスの成長に応じて柔軟に変化し、あらゆる成長段階をサポートする制作プラットフォームとなります。

ヒント：Admin Consoleでライセンスをトラッキングし、適宜調整しましょう。詳しくは、こちらの[ビデオ](#)をご覧ください。

## 請求処理の簡素化

すべてのプランをひとつの契約にまとめることで予算管理が容易になります。

複数のクリエイティブツールを個別に購入していませんか？すべてのツールが同じ制作プラットフォームの一部なら、それらの料金を一括して支払うことができ、請求処理が非常にシンプルになります。

それだけではありません。チームのメンバーが全員Creative Cloudのアプリを使用している場合でも、更新期間や請求サイクルが異なる個別のライセンスを持っていれば、ビジネスの規模が大きくなるにつれて複雑になるでしょう。利用中のすべてのプランをCreative Cloudグループ版の1つの契約にまとめれば、支払いが簡潔で予算を立てやすくなります。また、ライセンスの利用状況を可視化することで、チームで必要な分のみを支払うことができます。

さらに、Adobe FontsとAdobe StockがCreative Cloudグループ版に付属しているため、Admin Consoleでサブスクリプションを管理し、更新日を集約して外注先を減らすこともできます。組織に関連するすべての契約の詳細（契約の更新日または終了日を含む）を確認できるほか、すべてのライセンスの過去の請求書を一括して表示、ダウンロード、印刷することもできます。

ヒント：組織内のすべてのCreative Cloudライセンスを集約し、一元管理することでコストを削減できます。請求と支払いについて詳しくは、こちらの[ガイド](#)をご覧ください。

## 企業資産の保護

クリエイティブ素材とライブラリを組織内で共有し、保護できます。

担当者とプロジェクトが変わると、組織に帰属するアセットの把握が難しくなります。社員やフリーランサーが個人用ライセンスを使用している場合はなおさらです。しかし、Creative Cloudグループ版はアドビの法人用ストレージを利用して、すべてのユーザーアカウントとその関連コンテンツを所有できます。人事異動があった場合、Admin Consoleで担当を外れるユーザープロフィールからアセットを取り出し、別のユーザープロフィールに移すことができます。すべて組織に帰属したままです。

また、使用しているクラウドストレージの容量をモニタリングし、適宜追加することもできます。ストレージは個人レベルではなく組織レベルで割り当てられるため、ストレージの使用状況が見やすく、管理方法を詳細にコントロールできます。また、Admin Consoleに加えられたすべての変更は監査ログでトラッキングできます。これによりコンプライアンスを確保し、不適切なシステムアクセスを防いで、不審な行動をモニタリングできるため、操作性と利便性が向上し、万全なセキュリティが得られます。

ヒント：アセットの再利用については、こちらの[ステップ形式のガイド](#)をご覧ください。

## サポート

高度なテクニカルサポートとアドビの製品エキスパートによる1対1のセッションで、新しいクリエイティブスキルを習得できます。

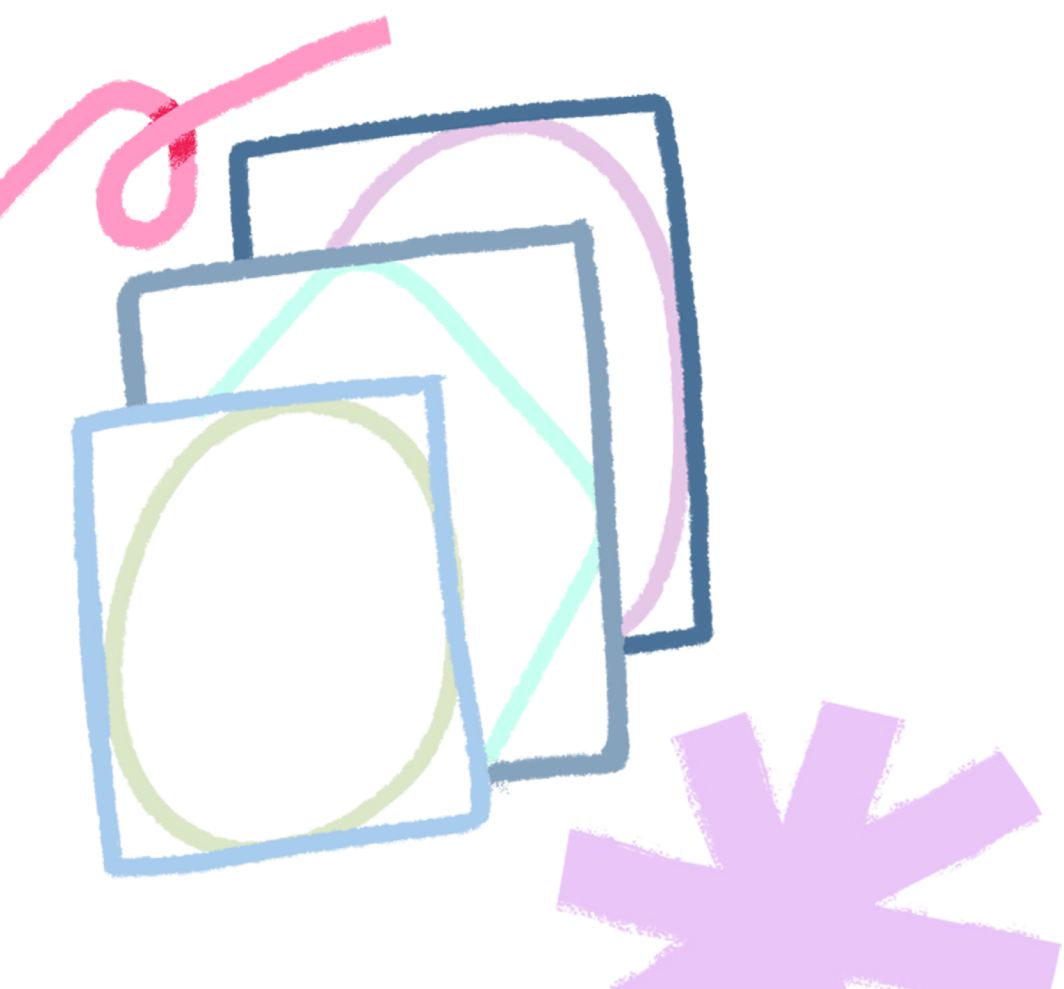
ビジネスの成長に伴い、制作上の不測の事態が生じたとしても、Creative Cloudグループ版には、そのような問題を解決するためのリソースが用意されています。

導入時には、Admin Consoleから技術サポートを受けることができます。

また、技術的なサポートだけでなく、高品質な作品を制作するためのコーチングが必要な場合もあるでしょう。Creative Cloudグループ版では、アドビ製品のエキスパートによる1対1のサポートを年に2回受けることができるため、クリエイターは自信を持って操作でき、新しいスキルを身につけることができます。

さらに、アドビの豊富なオンラインサポートコンテンツとチュートリアルを活用すれば、技術上の問題も制作上の課題も克服でき、作品のみならず、ビジネスも飛躍を遂げることができます。

ヒント：アドビの[サポートリソース](#)はこちらです。また、[Creative Cloudグループ版](#)のページで「リソース」をクリックして、その他の記事、レポート、オンラインセミナー、手順などもぜひご覧ください。



# クリエイティブツールを ぜひご活用ください

Creative Cloud グループ版を導入することで可能になるのは、高品質の作品制作がすべてではありません。そこにはさらに大きなメリットが秘められています。

Creative Cloud グループ版は、よりシームレスな共同作業と効果的なリソース管理が可能など、成長中のビジネスに必要な機能が搭載されているため、ビジネスを拡大し、影響力を高めるための強力な手段となります。

[詳細を見る](#)

Creative Cloud グループ版のご購入については、お電話 (0120-921-104) でお問い合わせいただくか、または[資料をご請求](#)ください。



© 2021 Adobe. All rights reserved.

Adobe, the Adobe logo, Acrobat, Adobe Aero, Adobe Fresco, Adobe Premiere, Adobe Talent, Behance, Creative Cloud, Illustrator, InDesign, and Photoshop are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.